

SHITAIKYO

第87号 滋退教 通信

2015年
1月1日

発行所：大津市梅林1-4-15
滋賀県退職教職員協議会
TEL: 077-523-1706
FAX: 077-525-1885
ホーリーホームページ
www.geocities.co.jp/HeartLand-Poplar/7201
発行責任者：清水 崇夫

明けましておめでとう
ございます

今年こそ佳き年で

ありますように

二〇一五年元旦

滋退教事務局・幹事会一同

羊の年、良識ある社会をめざして生き抜こう



いつか来た道に怒りの春

滋賀県教職員組合執行委員長 川瀬 美智子

明けましておめでとうございます。
皆様、ご健やかで新しい年をお迎えになつたことをお慶び
申し上げます。

さて、昨年は師走の忙しいときに、国と地方を合わせると一〇〇〇億円の費用をかけて、まったく意味のない無駄な衆議院議員選挙・傲慢選挙が実施されました。争点にアベノミクスを今まで以上に進めることがあげられました。

野党はバラバラで選挙に臨みましたが、大企業中心の景気回復を一番に掲げる自公民の政策が国民の支持を得る結果となりました。自民党と公明党を含めると過半数を確保しました。残念ながら、国民の良識は景気回復をめざす動きには勝てなかつた。今後、本当に恐ろしい国家運営が進められることになります。

憲法改悪、集団的自衛権行使、特定秘密保護法の実施、原発の再稼働を前面に出し、景気回復のみに力を入れようとしています。教育においては、改悪された教育基本法を傘にきて教育委員会制度の改悪、道徳を教科化し、戦前の教育にまい進する動きが顕著になつています。

良識ある国民は、ストレスがたまる一方で政治不信が募るばかりです。しかし、未来の子どもたちの将来を考えるところで留まつてはいられません。私たちは、平和憲法を守り、原発の廃炉を進め、クリーンエネルギーに入れ、民主的な教育の推進に全力を上げなければなりません。そのため、粘り強く、楽しみを持ちながら、強かにいろいろな運動に取り組んでいきたいと思います。

四月には地方統一選挙が迫っています。日政連議員を支援する運動にもご協力のほどよろしくお願ひします。

この一年、滋退教に結集する皆さんとの前向きの取り組みをよろしくお願ひします。素晴らしい年になることを祈念いたします。



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、滋教組運動の中で、とてもうれしかつたことがふたつありました。その一つは、三日月知事の誕生です。多くの県民が「滋賀のことは滋賀で決める。国からのおしつけはごめんだ」と自治を守り、草の根県政が継続されることです。

もう一つはフツ素の条例の変更です。最初に考えられたいた案だと、すべての学校でフツ化物洗口が行われることを義務づけられる内容になつていきました。子どもの権利、子どもにとつての最善の利益として考えたとき、毒物とも疑われているものを、集団でしかも学校という場で実施することはおかしい。パブリックコメントを呼びかけ、条例は変更されました。滋退教のみなさんにもご協力いただきました。私たちの運動が目に見えた事例です。

しかし、怒り、憤ることが多い年でもありました。昨年七月一日には集団的自衛権行使容認の閣議決定が、一二月一〇日に特定秘密保護法が施行されました。訳の分からないまま機密が増え、国民が気付かない間に戦争の準備が進んでいた戦前と同じ道が敷かれてしまいました。ドイツのヴァイツゼッカー元大統領の「過去に目を閉ざす者は現在においても盲目になる」は今の日本社会への警告とうけれど、戦前の大きな反省や戦争に突入していく歴史に学び、真実を見る目を持ちたいと思います。

春の統一地方選後には、集団的自衛権行使に関わる法案も提出されるでしょう。統一地方選挙では、大橋みちのぶ、下村いさお、草川ただしの組織内議員の当選はもとより、三日月県政を支える議員の当選でもつて、明るい希望のもちましよう。





4月の統一自治体選挙での圧勝をめざし



得意澹然 失意泰然



滋賀県議会議員

大橋 みちのぶ

得意澹然 失意泰然（とくいたんぜん しついたいぜん）

この言葉は、古代中国の思想家・崔 銑が記した「六然」に出てきます。得意なときほど、静かで安らかな気持ちでいること。失意のときにも、落ち着いて動じないこと。この言葉と出会ってからは、時々に自分自身の心の持ち方を見つめるようになりました。

新年明けましておめでとうございます。滋退教の皆さまからもうすぐ四年の月日が流れようとしています

これまで、小生にお寄せ頂いたご厚情に感謝申し上げますとともに、来る統一地方選挙にはふたたび挑戦する決意をしました小生・大橋みちのぶに対しまして、倍旧のご支援を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

大橋みちのぶ、ここに新年の誓いを申し上げます。

人間の深い部分に流れる気持ちを感じ取れる議員をめざします。



守山市議会議員 下村いさお

昨年末の急な解散総選挙。結果は解散前とほとんど変わらず…。約七〇〇億円もの税金を使って、いつたい何のための選挙だったのか、疑問を抱きながらの選挙戦でした。それでも、私たちが目指す生活者重視や共生社会、原発再稼働反対、集団的自衛権の閣議決定反対の主張に耳を傾け、同調する有権者も数多くいてくださいました。闘いはこれからです。

山元勉先生がお元気な時、「教育に愛、まちに福祉、国に平和」のスローガンを引き継がせてほしい」とお願ひしたところ、「うれしい。ぜひ頼む」と笑顔で応じてくださいました。山元先生のスローガンをしっかりと引き継ぎ、また、市議会議員や弱い立場にある人と共に過ごしてきた経験を生かして、この四月の滋賀県議会議員選挙に初挑戦します。

滋退教に集われる組合員の皆さんのお力添えを、何卒宜しくお願いします。頑張ります！！

新たなチャレンジ



大津市議会議員 草川ただし

新年明けましておめでとうございます。

衆議院選挙では、皆様に大きなお力添えを賜りありがとうございました。おかげさまで、川端達夫、田島一成を国政に送り出すことができました。景気対策、安全保障問題、原発の再稼働問題、右傾化する教育課題など、日本を危うくする安倍政権に対して、市民目線でものが言える環境づくりが整い始めできました。私も本来あるべき国政の方について怒りをもつて訴えていきます。

さて、私も、この世界に飛び込み、多くの方々とつながり合いながら、無我夢中でやってきました。地域での朝の交通立ち番で、子どもたちと触れあう喜び、地域のボランティアの方や保護者の方と活動する楽しさを感じております。と同時に、多くの人のつながりで社会が成り立っています。それと、誰もが豊かに幸せを感じることの大切さ、そしてそれを底支えするのが政治の役割であることを改めて実感しています。

四月の統一地方選では、大津市議会議員として三期目の挑戦です。チルドレンファーストをモットーに、誰もが住みやすい、人に優しい社会を目指し、とりわけ教育委員会制度が変わり、右傾化されようとするこれからの中の教育のあり方にブレーキをかけて、決して間違った方向に向かわないように、取り組みをすすめますことをお誓いします。本年も力強いご支援を何とぞよろしくお願いします。



川端達夫さんの当選を祝う
大津市選出の議員さんたち

どうなる！ 国の行く末

憲法が・教育が、高齢者が



地公三单産・地公退高齢者集会、

退職者連合全国高齢者集会に参加して

誰かした！ 自民大勝の流れを？

- ★ 残念だが皆で犯したこの事態、考えたい、どうするんや！
- ★ アベの暴走さらに加速、成り行き任せでは戦場へ一直線！
- ★ 民主連続の惨敗、自民へのまだまし感にやられた！
- ★ 国民もこれでよいのか？ 衆愚とバカにされない判断を！
- ★ 大企業・金持ち大儲け、中小・庶民完全冷飯の政治へ！
- ★ アベノのスクで庶民生活ドン底、この体制十年続くか？

収まらないこの気持ち

- ★ 敢えていう庶民の目が曇ってきたか？」の破滅ミックスを！
- ★ これでは多弱野党に攻め手なし、再編も視野に始動せよ
- ★ 武器・原発輸出解禁、再稼働、死の商人演じる国になる
- ★ 公明・学会で賛否の使い分け、「平和の党」はどうやら？
- ★ もたつくな民主、負け犬で尻尾を振るな！ 吠え続けよ！

國前の大打や！ 憲法九条消え何処へ行く？

- ★ 国民も目覚め考えよう、戦争できる国で本当によいのか！
- ★ いまは夢！ 一四・七・一、「憲法消えた日」にしたい思いが
- ★ 戦争へ日本版NSC・秘密保護法・集團的自衛権と急進
- ★ 噛みしめたい世界に誇る「教え子を戦場に送るな」を！
- ★ 「戦争をさせない委員会」動き出す、反戦平和行動を！

迫りきた教え子が戦場へ！

- ★ 今こそ子どもらへ繰り返し平和の尊さ真剣に伝えよう！
- ★ 日本の誇り六九年一兵たりと殺しも殺されもない事実を
- ★ 集団自衛権は孫への死の引導、訴えようこの危機を
- ★ 云えぬよりいわぬ教師が心配。深く思考し行動起させ！
- ★ 大阪教研訴訟勝利、橋下の暴走に歯止め、違憲と論断

平和な生活が何よりも言いたいが？

- ★ ノーベル賞日本の三人、信号機など一新、LEDは凄い
- ★ 何か変や！御嶽山噴火、風水害・土砂災害・竜巻・地震！
- ★ 今年も梅雨はアメなし、夏低温多雨、秋は無雨の毎日や？
- ★ 意表の異変気象連発、驚くことはない！これがアベ日本や
- ★ 年寄りは長生きし文句を言い続ける！ 昔もそうやつた

現職の皆さんと
田島一成さんの当選を喜び合う



連合高退協
秋のハイキング
9名参加
10.29（水）
京都宝が池方面



滋退教會長 清水崇夫

今年の地公三单産（自治労、日教組、全水道）・地公退高齢者集会は、九・一四日本教育会館で開催された。滋賀さんは山森正、清水明美、清水崇夫、現職の内海善夫の四名が参加した。主催者挨拶では、地公三单産代表の永井雅さんが自民党のマニフェストを例にあげ、安倍政権の問題点を批判した。

地公退会長の西澤清さんは広島・長崎の大会で安倍総理のコピー挨拶、将来特定秘密法を悪用しようとしている動きをあげ、「折れない心、屈服しない心」を持ち続けていれば、必ず、暴走し続ける現政権は滅びると訴えた。

記念講演で音楽家の海瀬頭豊さんの「沖縄の歴史と文化から平和を考える」では、対馬丸、サトウキビの花、キセンバルの歌、月桃の花などの歌をまじえて、平和への熱い思いが語られた。会場の約九〇〇人の手拍子で最高に盛り上がりつた講演であった。

退職者連合全国高齢者集会は、日比谷公会堂で開催され、阿部会長からは「我々は生き生きと安心して暮らせる社会をつくることを目指す」と力強い挨拶があった。その後、連休で人の往来が多い銀座までデモ行進。「憲法九条を守ろう」「集団的自衛権の法制化反対」「東日本大震災を風化させず、復旧、復興に全力をあげよう」などのシユプレヒコールで声をあげて整然と行進した。

スズメバチ同士の戦争！

湖西支部 清水崇夫

二〇一四年の九月二八日、書記局の今村さん宅の一階軒下の屋根裏にコガタスズメバチ（キイスズメバチ）の巣を発見。軒下の道路には五〇匹ほど死んでいる。蜂駆除会社に駆除を依頼。

するとコガタスズメバチの巣をオオスズメバチが巣の中の幼虫をねらって攻撃していたことが判明。専門家によると九月のこの時期にはオオスズメバチや熊蜂がミツバチの巣を襲うことが多いそうだ。まさに軒下は戦場そのもの。

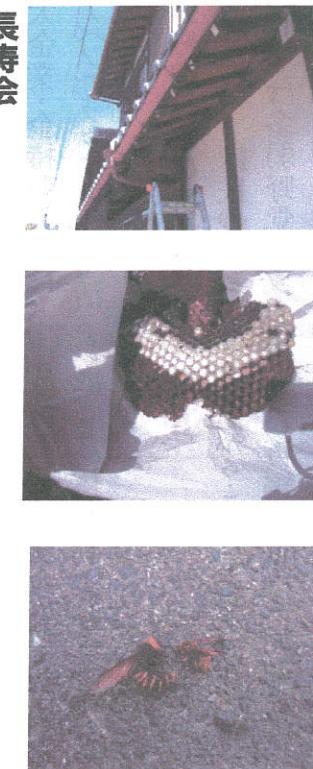
一センチほどの巣の入り口の穴に襲撃してきたオオスズメバチをコガタスズメバチが逆襲。何十匹もの蜂が入り乱れ、羽音をブンブン鳴らして殺し合いをしている。ときどき十四ほどの塊が路上に落ち、轟んだり、刺したりして格闘している。軒下には何十匹もの蜂の死骸。その死骸をオオスズメバチが口にくわえて自分の巣に飛び立っていく。

駆除会社には毎年三〇〇件からの駆除要請の話がある。

白の防御服を着ての作業で、暑いときゆえ大変な仕事である。巣が地面の中だつたり、狭い天井裏の中だつたりすると本当につらい。気を緩めて手袋を脱いだりするとその一瞬に刺され、手が倍ほどに腫れたこともある。蜂は黒色を攻撃する性質を持つているので、黒目もねらわれる。

作業はまず殺虫剤などを使つて蜂を全滅させてから、入り口にノコギリを入れて大きくし、巣を取り出した。それでもオオスズメバチが時々攻撃してくる。巣の中では幼虫が五〇〇匹から一〇〇〇匹動いていた。三段にわたつての巣なので数千匹の蜂を処分したことになる。親蜂は殺虫剤に弱いが、幼虫は強いのでなかなか死はない。幼虫の中には既に針をもつている場合があるので注意が必要。

今村さん宅は道路に面していて人通りも多く、通学路にもなっているが、幸い金曜日の夜と土曜日の朝だったので、人が刺されることはなかった。蜂同士の喧嘩は必死であるため人を刺すことはあまりないらしいが、この時期の蜂には特に気を付けよう。



役もまた楽し

湖二支部 小林幸夫

家内に「もういい加減でやめたらどうや」と言われながら、色々な会の世話役を七つもやっている。とりわけ多いのがグラウンドゴルフの世話役だ。これは町内、学区、市のそれぞれの団体と、今年は県の退教互の代表までまわってきた。

最近の風潮は、役は逃げまくつてクレームだけは言いまくるというのだから、八十一歳も越えた今、それこそ家の言う「言われまくつてようやつてるな」ということになる。けれど、ものは考えようと私は思う。それほど力もなくともそれぞれのことはやれている。中には心より感謝してくれる方も多いくらいにかかる。やり遂げた満足感もある。

身体の続く限りまあやつて行くか、と今日も思う。明日はどうなるか分からぬ高齢者だけど。

自在に気ままに地域で生きる

湖南支部 奥村平一

三年前から一人暮らしとなる。一人の子どもは独立し、妻・母を送り、毎日気ままな生活が続いている。

朝三時起床、朝酒、朝湯で一日が始まる。六時頃（少し明るくなつた時）から農作業開始、約一時間程度で終わる（時間業）。家の周りは草が伸び放題。しかし田んぼ（水稻）はきれいになつていて、米の生産も「こだわり」で自負している。イノシシやシカを捕獲し、さばき、知り合いに配る。畑も定番の野菜つくり。農業は新米で、一人になつてから始め、いまだにうまくいかない。

地域の役を受け持ち貢献している。仲間を募り麻雀クラブを立ち上げ（月一回定例）、参加者から喜んでもらっている。何かきままな生活で「これでよいのか」と反省をしながらの毎日。滋退教の催しに参加できていないのが気がかり。ごくろうさまです。

近親者がお淨土に行くとそれに応えるべくお寺に行く時間が増えました。

新鮮、退職後の暮らし

甲賀支部 西村敦子

退職して二年目に入りました。昼間にスーパーで買い物ができる新鮮な気持ちを、今でもいつも感じています。

職場を退いてから、見るものすべてが新しく感じられるのが不思議です。小さな小さな一粒の種をまいて、水をかけたり肥料をやつたりしているとぐんぐん伸びて、たくさんのが実をつけてくれるおもしろさもおぼえました。自分の作つた野菜は格別においしい気がするのですね。ほんの少しですが、野菜作りの醍醐味を味わっています。

週に二、三回ですが、小学校で先生方のお手伝いをさせていただいています。現役ではない立場で子どもたちを見ると、そのかわいさや良さがよくわかると思うこの頃です。

誘われて老人会ならぬ長寿会に入っている。「年寄りの集まり」といえば愚痴の言い合いかと思うが、平田のそれは大違い、週一回千円の会費でボランティアと一緒にボケ防止のゲームやクイズをしたり、おいしい食事をしたり。会員は水曜日の集会を楽しみに集まつてきます。集まれば持ち寄った趣味の手芸、絵などを教えあつたり、歌を歌つたり、ワイワイと賑やかです。私はクイズを集めてプリントしたり、解答の手助けをしたり、乏しくなつた脳をしぶつています。

「百姓一枚起證文」を知る

一一月一七日（月）

大阪裁判勝訴

戦いは続く

湖西支部 山森 正

甲賀支部では秋に研修会があり、毎年参加させて貰うのが楽しい。この日は幸運にも暖かい小春日和に恵まれ、甲賀市と県境で接した伊賀市小杉の山間の丘にある古刹、浄土宗長泉寺（前住職角出誠堂氏）に向かった。角出氏は滋退教会員である。

長泉寺の檀家の土蔵から、有名な法然の「一枚起請文」を抜った江戸末期の作と思われる「百姓一枚起證文」が発見され、それが寺で保管されているという。この日の研修では、その辺の経緯や意味合いについて、角出氏を講師に学習させてもらつた。

法然「一枚起請文」は、『唐土我朝（もうこしわがちよう）』に、もろもろの智者達の沙汰し申さるる……で始まる有名な一文である。法然が亡くなる二日前に弟子の求めで書き残した遺言書で、ひたすら念佛を唱える大切さを説いている。

一方、百姓向けの起請文は、『唐土はしらず、我朝にも諸々の百姓達の沙汰し申さるる……』から始り、『只一向に農作すべし』とある。百姓が農作に励まねば『一季（米と麦の収穫）の取入れにもずれ』と説き、法然の『二尊（阿弥陀仏と釈迦）のあわれみにはずれ』にかけるなど、絶妙などんちの巧さと深い学識がうかがわれる。農民に判り易い日常生活への貴重な教訓だつたのだろう。

この種の擬古文は数多くあり、茶の湯、俳諧、和歌、商人、飲酒、渡世などが存在しているようだ。これは一枚起請文が世間に広く知れ渡り、お念佛信仰が生活に密着していた証である。短いが大変要を得た文言であり、各分野の心得や戒めに少し滑稽さを加味して替え歌のようにしたのだろう。

研修では、こうした背景にある法然の念佛信仰や歴史も少し学べた。この地では安政年間に伊賀上野地震が起こり六百人近い死者が出たという。角出氏曰く、「不安定な社会状況だった時、農民の心を落ち着けようと書かれたのではない」と。

知らなかつた郷土史を学んで、その後の昼食会では楽しい交流ができた。

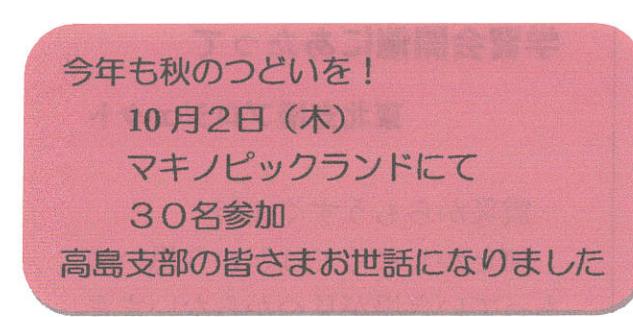


11月26日（水）判決報告会
山森・小坂・内海書記長参加



橋本市長は控訴するそうだ。同様の例が呉市と広島市であつたが、どちらも最高裁で勝訴しているにもかかわらず、国レベルで民主主義が崩されている今、地域地域の自分の持ち場で、長いものに巻かれず異議を申し立てていくこと、その成果を積み重ねていくことの意義は大きい。
がんばつてください、という言い方は他人事みたいだけれど、息長くがんばつてください。そして来年の教研はぜひ学校での開催を！

今年も秋のつどいを！
10月2日（木）
マキノピックランドにて
30名参加
高島支部の皆さまお世話になりました



学習会開催にあたって

東北支援プロジェクト

震災からもうすぐ4年。

何とかしなくてはという思いの
もっていき場が見つからないまま
時間が過ぎた感があります。

3・11の惨事は、私たちの誰
にとってもこの国これまでとこ
れからを見据えざるを得ない体験
だったはずですが、たった4年足
らずでなかつたことにされようと
しています。

支援とは何か。

寄り添うとはどういうことか。
私たちにできる行動とは何か。
時とともに新たな課題も重なりま
す。ともに考えたいと思います。
ぜひご参加ください。

滋退教の会員さんも多くの方が賛同されています。出来る
行動には参加しようと発足しました。

一月二一日の集会で歌発表する河西支部の石居九美さん

皆さまのご参加をお
待ちしています。



暮らしの場で政治を語ろう

一編集後記にかえてー

選挙の翌日の北海道から沖縄までの地方紙、社説で一
番多く使われていた言葉は「白紙委任したわけではない」
ほかに「フリーハンドを得られたのではない」「すべて信
任ではない」。合わせると半数になる。

しかし、もちろん安倍政権はそんな風には受けとらない
。目論見通り、憲法「改正」、原発再稼働など「争点」
アベノミクスの陰に隠しておいたものを前面に出して、
加速させている。

安倍政権のしてきたこと、しようとするとはどれ一
つとして生活の幸せに結びつくものはない。働く人を疲
弊させ、子どもからびやかな子ども時代を、若者から
は希望を奪つた。多くの老人は不安の中で生きている。
生活実感は何もないのに好景気感に躍らされ、飲み始
めたサプリがやめられないように「この道しかない」と
思わされた。

- 3月までの予定
- | | |
|-------------------|----------|
| 滋教組旗開き | 1月10日(土) |
| 教育対話集会 | 1月24日(土) |
| 大津勤労福祉会館 | |
| 滋退教・滋教組新春懇談会 | 1月26日(月) |
| 2.11 これでいいのか日本!集会 | |
| 2月11日(水)ひかり荘 | |
| 東北の現状を共有する学習会 | |
| 2月14日(土)教育会館 | |

参加ご希望・お問い合わせは事務局まで
077-523-1706



東北の現状を共有する学習会 福島からお二人を迎えて

とき 2月14日(土) 1時30分
(1時受付)
ところ 教育会館 中会議室
おはなし 池田芳江さん
(元日教組副委員長)
橋 柳子さん
(退女教副会長)



投票率は低く、大勝といつても与党支持は全有権者の
三割に満たない。白紙委任なんてとんでもないことだ。
わが子わが孫がどんな風に育ちどんな社会に出ていく
のか。私たちはどんな風に年をとっていくのか。それに
政治がどのように関わっているのか。想像力を働かせな
ければならないし、語り合わなければいけないと思う。
それも主義主張のわかり合っている者同士ではなく、地
域、職場など暮らしの場で話せる仲間を増やしていくこ
とだ。それぞれの生活の中で政治について構えることな
く話せる空気を作ることが、お互いのだまされない目を
育てていくのではないだろうか。

マスコミの世界ではすでに自主規制が進んでいる。私
たち生活者は身の回りから風通しをよくし、「白紙」の上
にあぶりだされる項目をチェックしていきたい。(KY)